

うえたけい せ き 上竹遺跡（3） 遺跡見学会

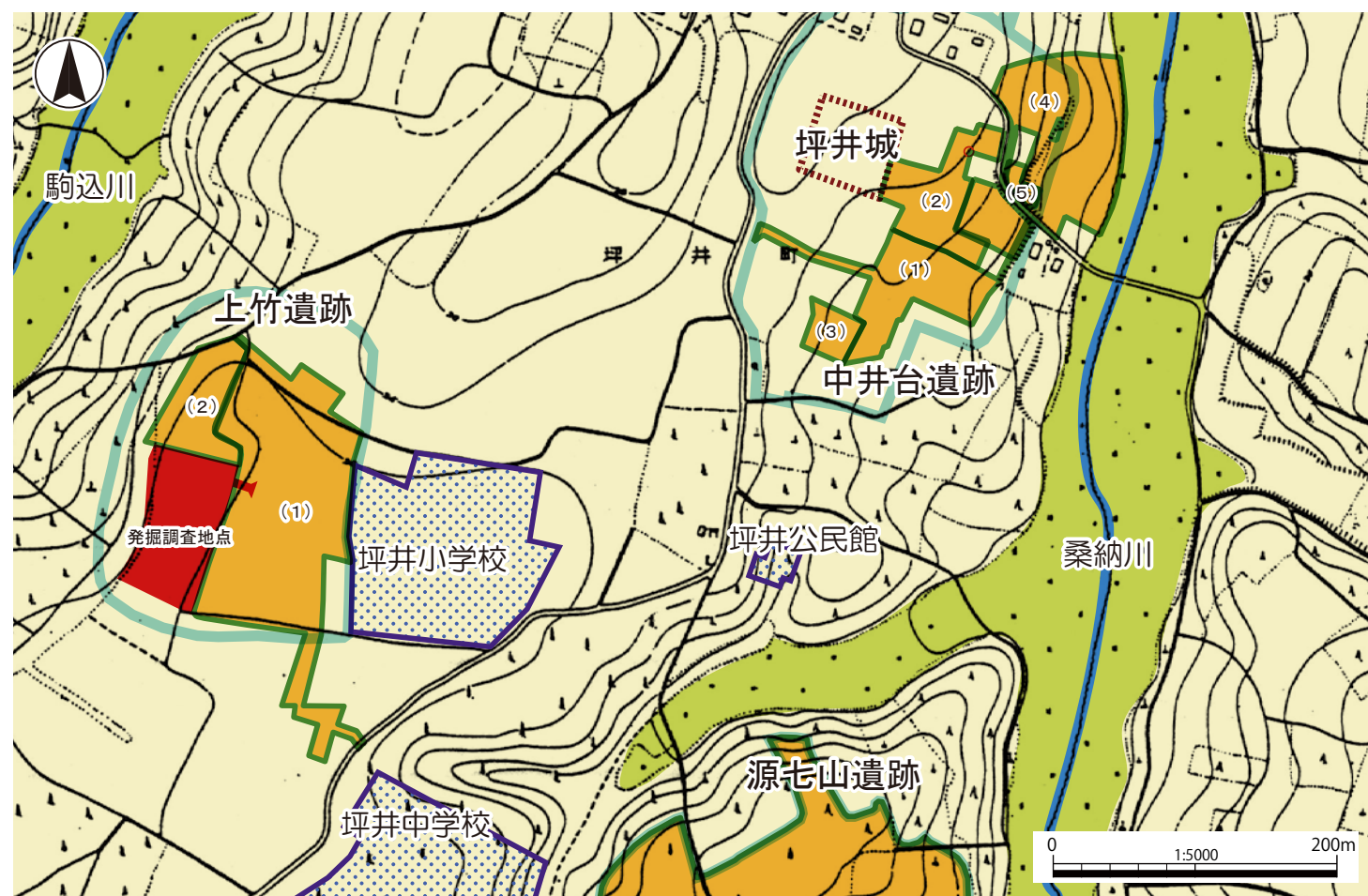
平成 28 年 11 月 26 日（土）（雨天 27 日）

遺跡ってなんだろう

「遺跡」とは昔の人が暮らしていたムラの跡など、私たちの祖先が生活した痕跡で、地面に埋もれた地域の歴史です。船橋市内には約 200 ヶ所の遺跡があり、年間 30 件ほどの発掘調査が行われています。

上竹遺跡について

上竹遺跡は印旛沼に流れ込む桑納川と駒込川に挟まれた、南北に長い台地の西側に位置しています。標高は約 26 m です。



今から約 60 年前の地図に遺跡の範囲・調査地点を合成。赤は今回の調査地点、オレンジはこれまでの調査地点

上竹遺跡の近くには、同じ台地上の北東側には中世を中心とした中井台遺跡、台地南東の谷を挟んで旧石器時代から中世・近世までの人々の生活が明らかになった源七山遺跡があります。上竹遺跡では過去に 2 度の発掘調査が行われており、主に縄文時代の遺構・遺物が発見されています。



今回の調査では、縄文時代中期（今から約 4000 年前）の

- ・竪穴住居（地面を掘り込んだ家の跡） 2 軒
- ・小竪穴（地面を掘り込んだ貯蔵施設） 5 基
- ・土坑（地面を掘り込んだ穴） 多数

が発見されています。

また、縄文時代の土器や石器も出土しています。

発掘調査の流れ

上竹遺跡（3）の発掘調査地点では 11 月から本格的な発掘調査を行っています。発掘調査がどのように行われるのか、竪穴住居を例に見ていきましょう。

確認調査 9～10 月



本格的な調査の前段階として、遺跡の内容を探る調査を行います

11/11 本調査開始



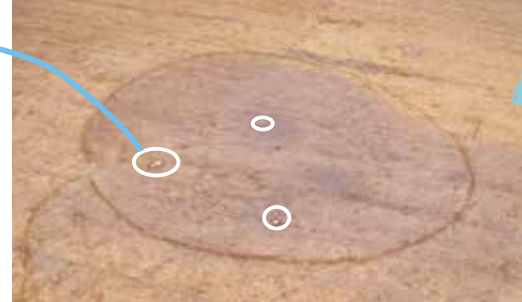
確認調査を元に重機で表面の土を掘っていきます

11/14



人力で調査を行う面をきれいにしていきます。すると、徐々に黒い部分が…

11/15



縄文土器

竪穴住居の輪郭と土器が見えてきました

11/17



土層を確認するベルトを残しながら住居を掘り下げていきます

11/21



住居の床がみえてきました

この続きは現場でご覧ください

おわりに

上竹遺跡（3）の発掘調査からは坪井周辺で暮らしていた縄文人の生活が明らかになりつつあります。発掘調査は 12 月まで続く予定です。

掲載データは 11/24 現在のものです、変更になる場合もあります。

船橋市教育委員会 生涯学習部 文化課・埋蔵文化財調査事務所